

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。

※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。

※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	淡江大学	氏名	
国名	台湾	学籍番号	
留学期間	2019年 2月 ~ 2020年 1月	記入年月日	2020年 2月 2日

1	履修した科目についてお書きください			
	主な専攻分野: 歴史			
	科目名	基礎書法	科目名	東亞與世界
	授業内容	書道の基礎的な方法について学習する。	授業内容	日本を中心とした東アジア諸国の情勢について学ぶ。
	授業形式	書道道具を用いて、教授が直接指導	授業形式	講義形式
	単位数	1	単位数	2
	サイズ	中規模	サイズ	大規模
	難易度 Course No.	全学年対象	難易度 Course No.	やや難
	宿題の量	なし	宿題の量	なし
	コメント	留学生が履修しやすい環境が整っていた。生徒はテキストの手本に基づいて、教授の指導のもと練習することができた。担当教授である馬先生は、親切にご教授くださり、非常にリラックスした状態で毎回の授業に臨むことができたと感じた。	コメント	日本や台湾のニュースをテキストとして用い、東アジア諸国の時事問題について学習した。授業内で、教授が受講生に意見を求めることがあり、同じ年代の学生の考えを聞き、自分も新たに問題を考察する機会を得ることができた。しかし、授業はすべて中国語で行われていたため、内容を十分に理解できない時もあった。
	科目名	女生体育－排球興趣班	科目名	日語會話(四)
	授業内容	女子生徒専用のバレーボールの授業	授業内容	淡江大学の日本語学科4年生との会話を通じて、日本語と日本文化について学ぶ
	授業形式	練習や試合	授業形式	講義形式
	単位数	0	単位数	2
	サイズ	中規模	サイズ	小規模
	難易度 Course No.	簡単	難易度 Course No.	普通
	宿題の量	なし	宿題の量	やや多い
	コメント	受講生に経験者が多かったため、毎回の授業が試合で始まり、試合で終わった。留学生は、私を含めて3人と少なかったが、先生や生徒も皆親切に接してくれた。自由な授業形式だったので、楽しく競技を行うことができたと思う。	コメント	日本に興味のある生徒が多く、スムーズに打ち解けることができた。単語や文法を教えたり、説明している時、日本語の新しい側面を見つけることができた際は非常に面白かった。台湾という異国の地で日本を客観的に見つめることができた。台湾人の友人もでき、お互いの外国語学習を通じて異文化交流を楽しめた。

科目名	博物館導覽	科目名	世界人權問題
授業内容	台湾の博物館や世界の博物館を学ぶ。校外学習として故宮博物館や紅樹林生態博物館を見学した。	授業内容	授業名の通り、世界各国の人権に関する歴史や問題について学習する。
授業形式	講義形式	授業形式	講義形式
単位数	2	単位数	2
サイズ	少人数	サイズ	大人数
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	やや難
宿題の量	なし	宿題の量	なし
コメント	留学生専用の授業で、履修者は15人ほどと少なかったため、集中することができた。授業はすべて中国語で行われた。博物館参観では、展示品に関する先生の説明がついたため理解しやすかった。	コメント	人気の授業なため、先生からのサインをもらうのに苦労した。講義は、すべて中国語で行われたため、理解できない内容もあった。
科目名	東北亞政経發展	科目名	新聞閱讀
授業内容	日本を中心とした東アジアの政治経済問題について学ぶ。ニュース番組を用いて時事問題も扱う。	授業内容	台湾の新聞やニュースをテキストとして使用し、中国語読解力を磨く。
授業形式	講義形式	授業形式	講義形式
単位数	2	単位数	2
サイズ	大人数	サイズ	少人数
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	やや難
宿題の量	普通	宿題の量	普通
コメント	授業はすべて英語で行われた。米中貿易摩擦や日本の新天皇に関するニュースを題材に、授業内で考察した。普段ニュースをあまり見ない自分にとって、時事問題を身近に捉えるいい機会となったと思う。	コメント	履修者のほとんどが正規学生であるため、生徒一人ひとりの中国語レベルが高く感じた。そのため、常に良い緊張感を持ちながら授業に臨むことができた。また台湾のニュースや新聞は専門用語が多く、読み進めるのに苦労した。
科目名	進階華語聽力(一)	科目名	進階華語寫作
授業内容	中国語のリスニング力を磨く	授業内容	中国語のライティング力を磨く
授業形式	講義形式	授業形式	講義形式
単位数	2	単位数	2
サイズ	少人数	サイズ	少人数
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	普通
宿題の量	やや多い	宿題の量	やや多い
コメント	この授業は、中国語上級レベルに値する。前期は中級クラスを履修していたため、自分の中国語能力が伸びたことを実感した。授業はすべて中国語で行われたが、先生の話は概ね理解できた。中国語でのコミュニケーションを重視した授業である。多国籍のクラスメイトで構成されたクラスだったため、ノンネイティブの話す中国語にも慣れることができた。	コメント	中国語の文章における句読点など、ライティングにおける基本的なルールを学習した。先生は、繁体字と簡体字の違いを細やかに指導していただいたため、漢字の正確性に気をつけるようになった。

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>留学生活前期・後期とも、すべて中国語で行われる授業に悪戦苦闘しました。本学生向けの講義に出席した際は、先生の話す中国語のスピードが速すぎて知っている単語を拾って理解するのに必死でした。内容を聞き取れなかった時は、同じ授業の日本人留学生と協力しながら理解を深めました。それでもわからなかった時は、直接教授に質問して解決することもありました。また、台湾人の友人に中国語の単語や文法を教えてもらうこともありました。一番苦労したことが、授業を履修を申請する際にもらう教授からのサインです。留学後期に、ベトナム語の授業を履修するために担当教授にサインを頼んだ際に「私の言っていることがちゃんと理解できるか？」と高圧的な態度で聞かれ、動揺してしまいました。授業で習った単語をいくつか質問され、正しく答えることができたので、最終的にサインをもらえました。私の中国語能力が試された出来事であったように思います。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>サークル活動には参加していなかったのですが、淡江大学の日本語チャットコーナーでリーダーを務め、台湾人を中心とする外国人学生と交流を深めました。そこで親くなった友人たちとは淡水を観光したり、台北の様々な場所を散策しました。また、授業外の活動として、一番印象に残っているのが「麗澤トリップ」です。これは、麗澤国際宿舎と松濤寮に住む交換留学生が参加する旅行です。前期は台湾中部で、後期は台湾東部の花蓮と宜蘭に行きました。前後期とも、様々なアクティビティを楽しみながら、台湾の文化を学べる充実した内容でした。私は、台湾の歴史や文化に興味があったので、実際に台湾各地を訪れることで、自分の肌身でそれらを感じれる貴重な経験を得ることができたと思います。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所 淡江大学のキャンパス内にある、麗澤国際宿舎です。</p> <p>設備についての簡単な説明 麗澤国際宿舎は、2階がロビーで1階(地下)は広々とした交流スペースになっています。3階は男子専用フロアですが、電子レンジやトースターが設置されていたので、利用することもありました。4,5階は女子専用のフロアです。各階に大きめの冷蔵庫が設置されています。また、洗濯機と乾燥機もあります。シャワー室とトイレは少々老朽化が進んでいて、冬になるとシャワーのお湯が出にくくなったり、水勢が弱まることもしばしばありました。各部屋には二段ベッドが2つ設置され、大きめの窓もあります。</p> <p>部屋について 4 人部屋 広さ 8 畳くらい</p> <p>ルームメイトについて 留学生活後期から約半年間麗澤国際宿舎に住みました。ルームメイトは、日本人2人とメキシコ人1人です。ルームメイト全員仲が良く、一緒に朝食を食べたり、買い物に行きました。特に、メキシコ人のルームメイトはフレンドリーで英語を流暢に話せない私にも親切に接してくれました。部屋に帰れば、必ず1人はルームメイトが居て、「Hi!」や「おかえり!」と声をかけてもらえる温かい環境で毎日を過ごせて本当に良かったです。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法 枕やピローケース、マットレスなどの基本的な寝具類は、寮から借りました。大学から徒歩30分ほどの場所にニトリがあったので、敷布団カバーや食器類などもすべて揃えることができました。大学付近に学生向けの生活用品店もありました。また、私は前学期の留学生友達から譲り受けた生活用品も使っていました。</p> <p>生活の感想 前期は、女子学生専用宿舎である松濤寮に住んでいたのですが、個人的な感想としては麗澤国際宿舎の方が住み心地がいいと思います。理由は3つあります。1つ目は、設備面です。麗澤寮は、住人が多いためシャワー室やトイレの数が多く、待つ時間も少なく済みました。2つ目は、住人の多様性です。アジア各国だけでなく、フィンランドやアメリカなど欧米諸国からの留学生が住んでいたため、様々な言語の飛び交う国際的な空間でのコミュニケーションは非常に良い経験になったと思います。3つ目は、開放性です。麗澤宿舎の学生は開放的でフレンドリーな学生が比較的多かったです。松濤寮は、各部屋2人部屋で個々が独立している印象を持ちました。麗澤寮は、人に接する機会の多い、よりオープンな寮だと思います。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>台湾は外食文化が普及しているため、食事は基本的に三食すべて外で済ませていました。特に朝食屋が便利で、日本円でいうと大体100円～200円ほどでお腹を満たすことができました。大学近くに学生向けの安価な定食屋やファーストフード店が揃っていました。また、台湾料理だけでなく日本食や東南アジア料理やパスタの店もあり、バラエティが豊かでした。週末は、有名観光地付近の夜市で夕食を購入することもありました。私の場合、食品衛生上の問題も特になかったです。台湾の料理は非常に美味しいのですが、油を大量に使っているため脂っこいものも多く、あまり食べ過ぎると肌荒れや体重増加に悩まされるかもしれません。</p>

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	なし	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	「淡江大学境外学生保険 TKU International Student Insurance」という淡江大学の留学生向け保険	
7	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
	特になし	
	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	8300円 30,000円
帰国旅費	10000円 36,000円	
引越し(往復で)	0円 0円	
保険	5370円 20,000円	
語学研修費	0円 0円	
留学先学費	0円 0円	
本学学費	70000円 250,000円	
教材費	1600円 5,800円	
住居費	0円 0円	
食費	75,000円 300,000円	
その他(旅行代)	40,000円 150,000円	
()		円
()		円
合計		円
換算率 (210,000円 = 791,800円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金 淡江大学奨学金		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	<p>生活用品に関しては、ドライヤーが必須です。また、衣類は夏服と秋冬服の割合6:4くらいで持参した方が良いと思います。淡水は台北の北部に位置し、河口も近いことから、12月-3月は風が強くなり冷え込みます。生地が分厚めのコートを一枚用意していくと重宝します。個人的な感想ですが、台湾には春がないように思えました。4月と5月は、雨が降る日が多く、ほぼ毎日蒸し暑かったです。タンクトップに薄いシャツを羽織り、時にはショートパンツで過ごしていました。夏は毎日気温が高いです。また、日本に比べて紫外線が非常に強いので大きめの帽子と日焼け止めは必須だと思います。もし、日本語の本を読みたいのであれば日本から持参すべきです。なぜなら、台湾の日本語書籍は割高だからです。物によっては、二倍の値段が付いていることもあります。最終的に言えることは、台湾の日本製品は基本的にやや高価なので、日本で買い揃えて行った方が得策だと思います。</p>	
留学前にしておけばよかったこと		
<p>2つあります。1つ目は、中国語と英語の勉強です。留学が決定してから、実際に台湾に渡航するまでに約8か月あったので、これら2つの外国語をしっかり学習する時間は十分にありました。しかし、私は中国語の授業に出席してただ受身でノートを取り、問題を解くのに必死なだけでした。実際に台湾に行った際は、話す力と聴く力の重要性に気づきました。日本では主に読み書き能力を磨いていたため、留学当初の私は台湾人のルームメイトや友人とうまくコミュニケーションが取れませんでした。時には自信をなくし、外国人と話すことが億劫に感じることもあり、引きこもりがちになったり悩んだ時期もありました。そういう時、日本でもっと中国語や英語のコミュニケーションスキルを磨いておけばよかったと後悔しました。外国語学習において、最も大事なことはコミュニケーションスキルを真っ先に身につけることだと思います。2つ目は、日本を良く知ることです。台湾で、友人に日本のことについて聞かれることが多かったからです。改めて日本の文化や政治などを説明しようとした際に、自分の知識不足を感じました。これから先、どんな場面でも外国人と関わる機会が増えると思うので、自国理解は必須です。</p>		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>学習面では、言語の壁で苦労しました。先述した通り、ある授業の担当教授からのサインをもらう際の出来事は忘れられません。自分の中国語能力が下に見られ、大勢の生徒の前で試すような態度をとられたからです。このような体験をしたのは、人生において初めてでした。不快な気持ちと自分の力不足に対する憤りを覚えました。しかし、このとき一番強かったのは、悔しいという気持ちでした。この日を境に、中国語能力を上げ、母国語話者が驚くくらい巧みに中国語を使いこなそうという目標を胸に、主にリスニング力やスピーキング力の学習を心がけるようになりました。生活面においては、台湾の気候に適応しにくかったです。特に、12月の淡水は朝晩の冷え込みと日中の寒暖差が激しく、風も強かったので体調を崩しやすかったです。また、最も厄介だったのが4月と5月です。梅雨のような天気が続き、毎日蒸し暑く、羽虫や蚊が大量発生したため、過ごしにくかったです。さらに、台湾の蚊は、「黒蚊子」と呼ばれる特殊なタイプでした。虫除けスプレーや、日本製のかゆみ止めが全く効かず、一度刺されると連日かゆみがおさまらず、夜眠れない日があるほどでした。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面では、中国語と英語のスキルが向上しました。特に、中国語のスピーキング力とリスニング力は留学前後で比べると歴然の差があります。留学初日、空港の入国審査での簡単な中国語ですら聞き取れませんでした。しかし、後期が始まる8月31日に再び入国審査所を通る機会がありました。その際、入国審査官と軽く会話を楽しむことができ、おまけに「あなたの中国語上手ね！」と言われ、能力の伸びを感じました。精神面においては、行動力とチャレンジ精神が格段に上がりました。留學生活では「とりあえず〇〇してみよう」精神のもと、行動することを心がけました。例えば、道に迷った際は近くの人に道を尋ねていました。以前の私であれば人に聞くことを敬遠し、自力で解決するのに時間を費やしていたことでしょう。また、留學後期に一人旅をすることが多くなりました。これも、自分の変化と成長の表れであると思います。単独行動は、自分のやりたいことに挑戦できるのです。見知らぬ土地と外国語に囲まれながらも、「すべて私次第」の旅を楽しみました。台湾という異国の地での生活を通して、これらの精神をたくましく、そして豊かにすることができました。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>今後も中国語の学習を続けます。現在は、中国政府公認試験であるHSK6級の合格を目指しています。6級は最高レベルなので、取得すれば自信につながると思います。津田塾大学の淡江大学からの交換留学生と交流することで、主にスピーキング力とリスニング力を強化したいです。彼女たちと、中国語と日本語を交えてお互いの文化を語り合ったり、出かけた時は、東京を案内できればいいなと思います。また、帰国してからは業界・企業研究や自己分析を中心とした、就職活動に向けた準備を少しずつ進めています。3月には、合同説明会や企業の個別説明会に参加する予定です。さらに、新学期からは卒業論文執筆に向けた4年セミナーも始まります。ももとは、東欧ゼミに所属していましたが、台湾留學中の東南アジア旅行をきっかけに、この地域を研究したいという思いが強くなり、セミナーを変更しました。4月からは、小島先生のセミナーで主に東南アジアの葬式文化や「死」に関するテーマを研究するつもりです。いずれの活動も、台湾留學で得た知識と経験を生かしたいです。</p>
12	<p>留學を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留學を考えているのであれば、まずは情報収集をしてみてください。留學パンフレットだけでなく、留學先の観光ガイドブックを読んでみるのも良いでしょう。なぜなら、実際に自分が生活する姿がイメージしやすいからです。さらに、その国の政治経済や文化の専門書を読むことで知識を増やすことができます。留學前に様々な本を読んでほしいです。留學先では、楽しいことも辛いこともあります。見知らぬ土地で、慣れるまで時間もかかると思います。しかし、留學先では新しい出会いに満ち溢れています。困難に直面した時も、周りの人が助けてくれます。人生一度きりの留學です。異国の地で、様々なことにチャレンジすれば、帰國後のあなたに変化があるでしょう。成長するチャンスをつかんでください。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>台湾に留學するにあたって、国際センターの方々には大変お世話になりました。私は、留學を通して人と環境に恵まれていることを改めて実感しました。家族や友人、推薦状を書いて下さった大学の先生方や事務室の方々にも手厚くサポートしていただいたからこそ、今の私がいます。本当に感謝しております。</p>



1. ウェルカムパーティーにて友人たちと



2. 台北市のスケートリンクにて



3. マーケット通りで談笑する私と友人